

平成29年度 第1回「きらり輝け！モノづくりセミナー」開催要領

1 趣 旨

本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎え、国内市場が縮小し、さらに急速なグローバルや高度情報化によるライフスタイルの変化や地域間競争など、特産品業界を取り巻く環境も変化していることから、マーケティングや商品開発等の専門家等による研修会を通じて、ブランド力を高めた戦略的な販売強化に取り組み“元気の出る鹿児島づくり”をめざす。

2 主 催

公益社団法人鹿児島県特産品協会

3 日 時

平成29年7月4日（火） 13：30～17：00

4 会 場

宝山ホール 第3会議室・第4会議室・第5会議室（鹿児島市山下町5-3）

5 テーマ

「かごしま」特産品の可能性

～明治維新150周年・奄美世界自然遺産登録を見据えて～

6 参加者：定員100名（無料）

県内特産品製造企業、各種団体、地域特産品協会、商工会、商工会議所、市町村等

7 内 容

(1) 基調講演（20分×3）

講 師	演 題
内田 勝規 氏 (株)オフィス内田 代表取締役会長)	「他の地域と比べた鹿児島の可能性と課題」
馬淵 知子 氏 (マブチメディカル クリニック院長)	『食』の機能性を活かすことが生き残りの“鍵”！！ ～「舌で味わい」「目で楽しむ」時代から、「頭で選んで食べる」時代への移行に乗り遅れるな！！～
坂本 貴弘 氏 (株)ふじやま学校 代表取締役会長)	最新マーケティングからみた地域物産振興の流れと鹿児島島の価値 ～「モノが売れる」ための公式（地域特産品PR編）概論～

(2) 分科会 (80分)

マーケティングや商品開発等の専門ノウハウを学び、地域特産品のブランド・販売力を高めるための実践型ワークショップ。定員は各30～40名。

(分科会1)

講師	演題・内容
内田 勝規 氏	「他の地域と比べた鹿児島の可能性と課題」
	受講者との質疑応答を交えながら、具体的事例をあげた講演

(分科会2)

講師	演題・内容
馬淵 知子 氏	鹿児島食材は『機能性』の玉手箱！！ ～自社の商品・商材の持ち味を最大限に活かした機能性表示が生み出すマッチング・テクニック～
	受講者との質疑応答を交えながら、具体的事例をあげた講演

(分科会3)

講師	演題・内容
坂本 貴弘 氏	「モノが売れる」ための公式 (地域特産品PR編) 圧縮版
	5～6名のグループワークによる「売れるための伝え方」を実践。 対象者：地域特産品の商品企画・開発・販売に携わっている・興味がある方。

※自社や本業等で企画・販売中の商品をお持ちの場合は、ワークショップ中に、「サンプル商品」・「パンフレット」・「販売サイト (ex. 閲覧できるPC・タブレット端末)」等を講師や同グループメンバーと共有できるご準備をいただくとより大きな実践成果が期待できます。

(3) まとめ (20分)

- ・各分科会の参加者代表より、分科会で実践した内容や感想を発表する。
- ・講師による総評。

講師プロフィール



内田 勝規 氏 株式会社オフィス内田 代表取締役会長

1957年生まれ 中央大学卒業。

東武百貨店に入社。CI委員会事務局や増床プロジェクト担当等を経て物産を担当。2001年秋、東武百貨店「北海道物産展」では約4億円を売り上げ（前年1億5千万円）、さらに2004年には年間売り上げで日本一（約13億円）を達成する。

「北海道物産展といえば東武」といわれるまでに育て上げ、カリスマバイヤーと呼ばれる。また、同店の鹿児島展の開催に携わるほか、鹿児島県PR戦略会議委員も務めた。2009年エグゼクティブバイヤーに就任。2010年東武百貨店を退社。

地域のために共に考え、地域を元気にすることを趣旨として(株)オフィス内田を設立。現在は日本全国、海外での物産展、企画プロデュースを手掛けている。



馬淵 知子 氏 マブチメディカルクリニック 院長 学校法人食糧学院 副学院長

東京医科大学医学部医学科卒業後、同医科大学病院皮膚科学講座に所属しながら同病院に勤務後、マブチメディカルクリニックを開設、現在に至る（院長）。

内科学・皮膚科学が専門であるが、あらゆる科と提携を結び、多面的に人間の体を総合的にサポートする医療を推進している。

また、学校法人食糧学院の副学院長で、東京栄養食糧専門学校・東京調理製菓専門学校で講師も務めている。

その他に大手食品メーカーの商品開発の監修などにも多数携わっている。



坂本 貴弘 氏 株式会社ふじやま学校 代表取締役会長

1979年神奈川県出身。2004年3月東京大学卒業後、外資系コンサルティングファームに入社。戦略部において事業戦略策定プロジェクトなどに参画。国内上場企業をはじめ、多くのクライアントへコンサルティング業務を行う。

2011年5月「株式会社ふじやま学校」代表取締役に就任。首都圏メンバーとともに鹿児島県に移住。志布志市を拠点とし鹿児島県外・海外の官民組織・団体へコンサルティングサービスを展開する傍ら、2014年11月志布志市の情報発信事業において地方自治体として全国初とされるSNS複合型情報発信サイト「シンガーデン」を運営。

2015年6月内閣府「地域再生計画」首相認定、動画コンテストで優秀作品として選定されるなど地方創生、地域活性化分野でも国の機関から一定の評価を受ける。

(公社) 鹿児島県特産品協会 ブランド支援センター 宛
(FAX 099-227-0768)

平成29年度第1回「きらり輝け！モノづくりセミナー」
参加申込書
(7月4日(火)開催)

[申込締切 6月29日(木)]

企業・団体等名： _____

所在地： _____

T E L： _____

F A X： _____

[参加者]

職名		氏名	
職名		氏名	
職名		氏名	

◎ご希望の分科会を1つ選び○をご記入ください。なお、複数の参加者がいる場合で、それぞれ別の分科会を希望される場合は、希望する分科会の欄に氏名をご記入ください。

※各分科会の収容人数により先着順にて振り分けさせていただきます場合があります。

	演題：他の地域と比べた鹿児島の可能性と課題 実践編 講師：内田勝規氏 (株オフィス内田 代表取締役会長)
	演題：鹿児島の食材は『機能性』の玉手箱！！ 講師：馬淵知子氏 (マブチメディカルクリニック 院長)
	演題：「モノが売れる」ための公式 (地域特産品PR編) 圧縮版 講師：坂本貴弘氏 (株ふじやま学校 代表取締役)